

☆これまでの経緯

- ・末松先生の授業について検討が行われています。
- ・領域は「表現」に決まりました。
- ・学年は3年生の予定です。

12月25日に行われた学習会には13名の先生方が参加し、それぞれの実践について交流しました。研究大会開催時期と末松先生の学校の校内的な事情から、領域を「表現」と「鑑賞」のどちらにすべきか検討を重ねてきました。その結果、授業者にとって思い入れの強いもの、授業者がやってみたいことを優先的に考え実施していくことが望ましいだろうということになり、領域は「表現」で、谷川俊太郎作詞・木下牧子作曲の合唱曲「春に」を扱っていくことになりました。

【末松先生がやりたいこと】

「生徒個人が自分なりに解釈した詩の世界を、仲間同士で交流しあい、感動のある表現へ結びつける」ということです。

【末松先生が不安に思っていること】

- ・ 授業研が学校祭直後であり、合唱に対して燃え尽きている状態の中、授業研においても意欲的に合唱できるのか。
- ・ 扱う予定の教材「春に」は合唱コンクールの課題曲としており、合唱コンクールの結果が授業に向かう生徒のモチベーションに影響を及ぼすのではないか。

末松先生自身が以前、2005年度の空知の研究大会で実践した「資産」もあります(05年度の研究集録に指導案等の資料が掲載されています)。まずは、この05年度研究集録を読み返して学習していこうということになりました。また、次回の学習会に向けて、「春に」に関する様々な資料(各種音源CD等、楽譜、曲や詞などに関する様々な資料なんでも)を集めて、各自持ち寄ろうということになっています。歌唱表現の研究グループで勉強したいという方がいましたら遠慮なくお申し出ください。

※05年度研究集録をお持ちでない方、内容をご覧になりたいという方、ぜひご連絡ください。

また、もう一つのグループ(1年生 斎藤先生)は、領域を「創作」とし、斎藤先生からは「リズムにこだわってみたい」という意見が出ており検討が進められています。

学習会の詳細は西田先生のブログに掲載される予定ですのでご面倒でもそちらをご覧ください。ブログのカテゴリー『仲間とともに』に掲載されています。(アドレスはこれまでの音連の資料などに記載されています。わからなければご連絡をお願いします)

今後はグループごとの活動となります。以下が日程の目安となります。

☆今後の推進日程(予定)

- ～12月 領域の確定
- ～2月 授業者のアイデア検討
- ～3月 題材の確定
年間指導計画
指導案作成
教具の準備
- ～4月 グループ内模擬授業
- 5月 プレ研
- 6月 プレ研
常時教材研究